

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2004-252546(P2004-252546A)

【公開日】平成16年9月9日(2004.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-035

【出願番号】特願2003-39545(P2003-39545)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 12/00

G 0 6 F 13/00

G 0 6 F 15/00

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 4 6 R

G 0 6 F 13/00 5 5 0 B

G 0 6 F 15/00 3 1 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月8日(2005.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

W e b サーバが保持する既存のコンテンツをコンテンツ変換装置により携帯端末向けコンテンツに動的に変換する方法であって、

前記コンテンツ変換装置が、

携帯端末向けコンテンツのレイアウトを規定したテンプレートをコンテンツ管理者の指示に従いD O Mツリー化してテンプレート記憶手段に記憶させる第1のステップと、

携帯端末からのコンテンツリクエストに対するコンテンツの動的変換時に、前記W e b サーバが保持する既存のコンテンツ内の画面要素を取得し、画面要素のD O Mツリーを作成する第2のステップと、

前記D O Mツリー化したテンプレートと前記作成した画面要素のD O Mツリーとを合成し、携帯端末向けコンテンツを作成する第3のステップとを備えることを特徴とするコンテンツ変換方法。

【請求項2】

前記第1のステップにおいてテンプレート記憶手段に記憶させるテンプレートが、X M LあるいはH T M Lで記述され、既存のコンテンツの画面要素を挿入する場所をタグとして記述されていることを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ変換方法。

【請求項3】

前記第1のステップにおいて、複数のコンテンツ記述言語に変換された複数のテンプレートのD O Mツリーを記憶させることを特徴とする請求項1または2記載のコンテンツ変換方法。

【請求項4】

前記第2のステップにおいて、既存コンテンツ内の目的の画面要素のみのD O Mツリーを作成することを特徴とする請求項1～3のいずれか一項に記載のコンテンツ変換方法。

【請求項5】

前記第3のステップが、作成した画面要素のD O Mツリーのみを、リクエスト元の携帯

端末に対応したコンテンツ記述言語に変換するステップを含むことを特徴とする請求項1～4のいずれか一項に記載のコンテンツ変換方法。

【請求項6】

前記第3のステップが、リクエストされたコンテンツ、リクエスト元の携帯端末のコンテンツ記述言語に合わせて対応するテンプレートのDOMツリーを取得するステップを含むことを特徴とする請求項1～5のいずれか一項に記載のコンテンツ変換方法。

【請求項7】

前記第3のステップが、リクエスト元の携帯端末のファイルサイズに合わせたページ分割時に、テンプレートのDOMツリーを解析し、その間にテンプレート内の画面要素を示すタグを、作成した既存コンテンツの画面要素のDOMツリーで置換するステップを含むことを特徴とする請求項1～6のいずれか一項に記載のコンテンツ変換方法。

【請求項8】

Webサーバが保持する既存のコンテンツを携帯端末向けコンテンツに動的に変換する装置であって、

携帯端末向けコンテンツのレイアウトを規定したテンプレートをコンテンツ管理者の指示に従いDOMツリー化して記憶するテンプレート記憶手段と、

携帯端末からのコンテンツリクエストに対するコンテンツの動的変換時に、前記Webサーバが保持する既存のコンテンツ内の画面要素を取得し、画面要素のDOMツリーを作成する第1の手段と、

前記DOMツリー化したテンプレートと前記作成した画面要素のDOMツリーとを合成し、携帯端末向けコンテンツを作成する第2の手段とを備えることを特徴とするコンテンツ変換装置。

【請求項9】

Webサーバが保持する既存のコンテンツを携帯端末向けコンテンツに動的に変換するためのプログラムであって、

コンピュータを、

携帯端末からのコンテンツリクエストに対するコンテンツの動的変換時に、前記Webサーバが保持する既存のコンテンツ内の画面要素を取得し、画面要素のDOMツリーを作成する第1の手段と、

携帯端末向けコンテンツのレイアウトを規定するDOMツリー化したテンプレートと前記作成した画面要素のDOMツリーとを合成し、携帯端末向けコンテンツを作成する第2の手段として機能させることを特徴とするコンテンツ変換プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を解決するために、本発明に係るコンテンツ変換方法は、携帯端末向けコンテンツのレイアウトを規定したテンプレートをコンテンツ管理者の指示に従いDOMツリー化してテンプレート記憶手段に記憶させる第1のステップと、携帯端末からのコンテンツリクエストに対するコンテンツの動的変換時に、前記Webサーバが保持する既存のコンテンツ内の画面要素を取得し、画面要素のDOMツリーを作成する第2のステップと、前記DOMツリー化したテンプレートと前記作成した画面要素のDOMツリーとを合成し、携帯端末向けコンテンツを作成する第3のステップとを備えることを特徴とする。

また、前記第1のステップにおいてテンプレート記憶手段に記憶させるテンプレートが、XMLあるいはHTMLで記述され、既存のコンテンツの画面要素を挿入する場所をタグとして記述されていることを特徴とする。

また、前記第1のステップにおいて、複数のコンテンツ記述言語に変換された複数のテ

ンプレートのDOMツリーを記憶させることを特徴とする。

また、前記第2のステップにおいて、既存コンテンツ内の目的の画面要素のみのDOMツリーを作成することを特徴とする。

また、前記第3のステップが、作成した画面要素のDOMツリーのみを、リクエスト元の携帯端末に対応したコンテンツ記述言語に変換するステップを含むことを特徴とする。

また、前記第3のステップが、リクエストされたコンテンツ、リクエスト元の携帯端末のコンテンツ記述言語に合わせて対応するテンプレートのDOMツリーを取得するステップを含むこと特徴とする。

また、前記第3のステップが、リクエスト元の携帯端末のファイルサイズに合わせたページ分割時に、テンプレートのDOMツリーを解析し、その間にテンプレート内の画面要素を示すタグを、作成した既存コンテンツの画面要素のDOMツリーで置換するステップを含むことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明に係るコンテンツ変換装置は、携帯端末向けコンテンツのレイアウトを規定したテンプレートをコンテンツ管理者の指示に従いDOMツリー化して記憶するテンプレート記憶手段と、携帯端末からのコンテンツリクエストに対するコンテンツの動的変換時に、前記Webサーバが保持する既存のコンテンツ内の画面要素を取得し、画面要素のDOMツリーを作成する第1の手段と、前記DOMツリー化したテンプレートと前記作成した画面要素のDOMツリーとを合成し、携帯端末向けコンテンツを作成する第2の手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明に係るコンテンツ変換プログラムは、コンピュータを、
携帯端末からのコンテンツリクエストに対するコンテンツの動的変換時に、前記Webサーバが保持する既存のコンテンツ内の画面要素を取得し、画面要素のDOMツリーを作成する第1の手段と、携帯端末向けコンテンツのレイアウトを規定するDOMツリー化したテンプレートと前記作成した画面要素のDOMツリーとを合成し、携帯端末向けコンテンツを作成する第2の手段として機能させることを特徴とする。